

楽器検索・楽器店セール情報  
バンド検索・ギターにハマる！  
CLICK HERE!

## コードについて【2】

前回に引き続きコードの仕組みについて、話を進めていきます。  
今回は主に「特殊コード」と「テンション・コード」について説明していきます。ちょっと変わった響きのするコードばかりですが、“Root” “3rd” “5th” の音の重なりが基本になっていることに変わりはないので、じっくり取り組んで少しずつ理解していきましょう。

紹介UQ.だぞっ  
UQモバイルに  
10人紹介で最大  
基本料10ヶ月0円  
キャンペーン期間：2018年6月1日(金)～8月31日(金)

ここから開始

3つの簡単なステップ

- 1) [ここから開始] をクリック
- 2) 当社のウェブサイトからダウンロード
- 3) 無料ファイルコンバーターを入手

fromdoctopdf.com

### 「特殊和音」

#### ◆ディミニッシュ・コード(dim)

ディミニッシュ・コードとは簡単に言うところから短3度ずつ4つの音を重ねたコードです。構成音のすべてが同じ間隔で重なっているため、構成音のすべてがルートに成り得るといって特別な性格を持っています。

ディミニッシュ・コードとは... (dim またはOで表記する)

左の図のようにすべての構成音が「短3度」(3フレット) ずつの重なりなので、構成音のすべてがルートに成り得てしまいます。つまりディミニッシュ・コードは1つの和音が4つ分のディミニッシュ・コードと同じ構成音を持っている事になるのです。

“Root” “b 3rd” “b 5th” までの3つの音の重なりを「ディミニッシュ・トライアド」といいます。

Cdim = E<sup>b</sup>dim = G<sup>b</sup>dim = A<sup>b</sup>dim = Cdim = ...

繰り返し

これをギターに指板上に置き換えてみると、3フレットずつ移動することになります。つまりディミニッシュ・コードは「3フレット間隔で移動しても同じコード」ということになるのです。

この性質は実際のプレイにおいて非常に役にたつので、ディミニッシュ・コードを押さえる練習をする時は必ず3フレットずつ移動する練習も合わせて行って下さい。

#### ディミニッシュ・コードの代表的な押さ:

Cdimでの例

#### ◆オーギュメント・コード (aug)

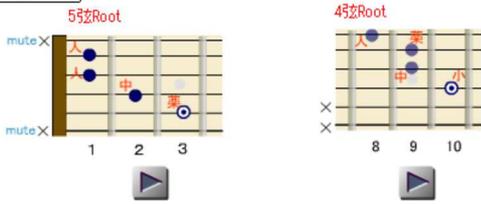
オーギュメント・コードとは... (augで表記する)

すべて長3度間隔

オーギュメント・コードとはディミニッシュ・コードが“短3度”の重なりであったのに対し、“長3度”の重なりを3和音です。

オーギュメント・コードの代表的な押さ:

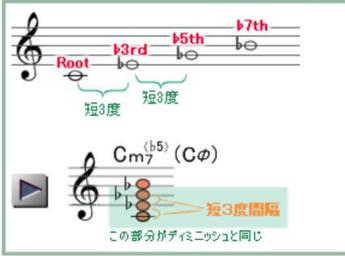
Caugでの例



※aug (オーギュメントコード) は4フレット (長3度) ずつ移動しても同じコードの構成音になります。

◆ ハーフ・ディミニッシュ・コード (m7b5、φ)

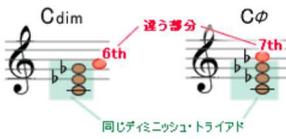
ハーフ・ディミニッシュ・コードとは... (m7<sup>(b5)</sup>又はφで表記する)



このコードは“マイナー・セブン・フラット・ファイブ (m7b5)”の別称ですが、なぜこのような名前がついているかというと、トライアド (Root&3rd&5th) の部分がディミニッシュ・コードと同じ「短3度」ずつの重なりになっているからです。

→ディミニッシュ・トライアドに 7th が加わったコード

～ディミニッシュ・コードとハーフ・ディミニッシュ・コードとの違い～

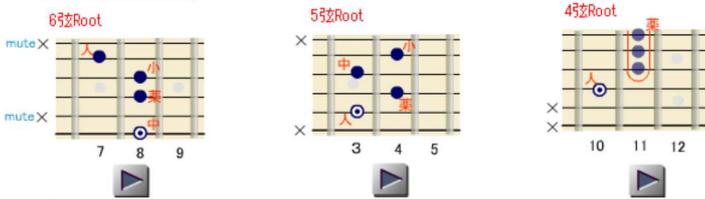


「ディミニッシュ」と「ハーフ・ディミニッシュ」との違いは4つめの音の部分が「6th (長6度)」なのか「7th (短7度)」なのかという部分です。

ディミニッシュ・トライアド (Root, b3rd, b5th) に6thが加わっているのが「dimコード」。7thが加わっているのが「φ」コードという風に覚えるといいでしょう。

ハーフ・ディミニッシュ・コードの代表的な押さえ方

Cm7<sup>(b5)</sup> (Cφ)での例



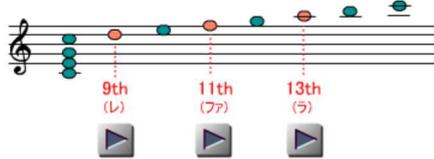
gamesik d s

「テンション・コード」

◆ テンションの呼び方

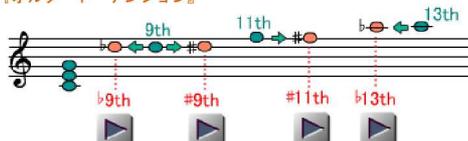
“テンション”は基本的にオクターブ上の表記になります。“テンション”が“8度”にあたるので“9th”“11th”“13th”という風に表します。詳しくは下記の図を参考にして下さい。まずはオクターブ上のドレミファへの内、Root (ド) & 3rd (ミ) & 5th (ソ) & 7th (シ) 以外の音を『ナチュラル・テンション』と呼びます。M7thもテンションに分類されることもありますが、ここでは、わかりやすいように4和音+αをテンションとして考えます。

『ナチュラル・テンション』



9th	2nd (レ) のオクターブ上。 2+7=9と考える。
11th	4th (ファ) のオクターブ上。 4+7=11と考える。
13th	6th (ラ) のオクターブ上。 6+7=13と考える。 M7thや7thが含まれないコードに加えた時は「6th」と表記されることが多い。

『オルタード・テンション』



- ※ b11th (bファ) = 3rd (ミ) になってしまうので存在しない。
- ※ #13th (#ラ) = 7th (シ) になってしまうので存在しない

◆ テンション・コードの表記

テンション・コードはちょっとした表記の違いでぜんぜん違ったコードを意味してしまうことがあ

るので、基本的な表記法をマスターしておきましょう！基本的な書き方や間違えやすいポイントなどを最もよく使われるテンションである“9th”を例にとって説明してみます。

### 「C9」

7th(短7度)とは、どこにも書いてないが、「C9」と表記した場合必ず“7th”が含まれます。  
「C7(9)」と書いてもよい。

### 「CΔ9」

「C」 と 「9」 の間に 「Δ」 や 「M」 が書かれている場合、それは  
“CΔ7” + “9th” という意味。メジャー・セブンス・コードにテンションを加えたい時はこの表記法を使う。

### 「C6(9)」

これは見ての通り、“C6” に “9th” を加えたという意味。  
シックス・コードにテンションを加えたい時はこのように “6” と書いて ( ) 内にテンションを書く。

### 「Cadd9」

7thや6thなどのない3和音(トライアド)にテンションのみを加えたい時はコードネームの後にadd(「加える」の意)を付けてその後にテンションを書く。

以上がテンション1つを加える時の代表的な書き方です。テンション以外、なにも書いてなければ「7th」を含んでいて、「M7th」や「6th」の表記があればそのまま「M7thコード」や「6thコード」の上にテンションが乗っていることを意味します。  
尚、トライアドに直接テンションを加えたい時は「add」を使って表します。  
4種類の書き方の意味をよく覚えておいて下さい。  
次に複数のテンションが加わった時の表記について説明します。

### 「C13」

「C13」と書くとはC7コードに13thまでのナチュラル・テンション(9th&11th)も同時に加える事を表わす。  
「C11」ならば、C7+9th+11thという事になる。  
これに対して・・・  
このように( )でテンションを囲った場合は、書かれたコード(C7)に( )内のテンションのみを加えるということを表わす。  
一般的にはこの書き方が多い。

### 「#9th」と「b13th」を「C7」に加えたい時

「C7」と書いて ( ) 内にテンションを書くと、この場合「C7+#9th+b13th」という意味になる。

### 「9th」と「#11th」を「CΔ7」に加えたい時

CΔ7(9, #11) 又は CM7(#11) と書く  
CΔ7と書いて ( ) 内にテンションを書くと、この場合「CΔ7+9th+#11th」という意味になる。

このように“もとのコード”の表記にプラスして( )内に加えたいテンションを書くのが基本の表記法になります。  
マイナー・コードでも同じです。

特殊なコードやテンション・コードなど、ちょっと難しいコードについての説明が続いて混乱してしまうかもしれませんが、理解して慣れてしまえば、そのコードが何を意味しているかがはっきり書いてあるだけなので簡単に読みとることができるようになります。  
自分が相手に伝える時もきちんと書くことで、誤解をまねかず済みます。  
ゆっくりと時間をかけて確実にマスターするようにして下さい。

次回は実際にギターを使っての、「コードの作り方」などを説明したいと思います